

## 2016年3月期第2四半期決算発表に関する主なご質問

2015.11.4

Q: 高機能ガラス事業の中で、ディスプレイ事業の業績が悪いようですが、上期の状況はどうだったのですか？

A: 第2四半期中に、当市場においては競合メーカーの新規参入もあり、市場価格は下落しています。さらに、当社の製造ラインで生産上の問題が発生し、コストが増加したこともあり、当該事業の業績が悪化しました。

Q: ディ스플레이事業の今後の見通しは？

A: 需要については、中期的には市場は年率10%成長(数量ベース)を見込んでいます。ディスプレイ事業製品群の中でも、より高付加価値品である新製品「glanova®」の販売にも注力していきます。

Q: 2016年3月期の当期利益の見通しが未定となっていました。その見通しに影響が大きい個別開示項目の今後の見通しは？

A: 項目の中身について具体的には申し上げられませんが、ノンコア資産の流動化は引き続き進めていく項目です。またそのほかの検討事項についても、現時点で個々の実行タイミングや規模に不確定要素がございます。見通しが判明し次第、速やかにお知らせいたします。

Q: その他地域(南米、東南アジア等)のビジネスの状況はどうですか？

A: 建築用ガラスは東南アジアを主として前年比利益が改善しています。南米の自動車生産台数は前年比大きく減少していますが、当社ビジネスは数量減少による影響をコスト削減や、製造設備の統合等によって相殺しています。

Q: 燃料コストの状況は？

A: 燃料コストは引き続き減少し、営業利益の改善に寄与しています。当社は燃料調達コストの大幅な変動を避けるため、燃料の約半分を予約購入しています。なお、第2四半期末時点において約10億円のヘッジ評価損を包括利益計算書で計上しておりますが、損益計算書には影響ありません。

以上。